

平成30年度 佐久地域の「横断的な課題」の解決に向けた取組実績について

資料 1

平成31年4月24日
佐久地域振興局

横断的な課題	施策の柱	具体的な取組(●地域振興推進費、◆部局予算、★地域発元気づくり支援金)	県民・イベント参加者の声等	制作物等
健康長寿と地消地産の推進を核とした地域づくり	さくっと「ずく出す」プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関、団体、企業等の連携のため、さくっと「ずく出す」ネットワーク会議を開催(出席者20団体、26人) ●ロコモ予防に向けた「ずく出すサポーター養成講座」の開催(4回、述べ参加者 185人、修了者43人)、「ずく出すサポーターフォローアップ講座」の開催(2回 延べ参加者116人)、ずく出すフォーラムの開催(1回、参加者79人) ●働き盛り世代の運動の習慣化を図るため、企業等におけるスポーツ指導者養成講座を開催(参加者延べ20団体35人)、企業等が開催するセミナーへ講師を派遣(計14回、7団体、参加者延べ423人) ●文化財ウォーキングマップの作成(8月) ●「健康長寿」の地域づくりを推進するため、ウォーキングコースの活用促進、情報発信に関して関係機関による検討会議を開催(1回) ★戦隊による高血圧対策事業(住民の健康長寿を図るため、小海町の戦隊キャラクターをイベントに登場させ、食事(減塩、野菜)と運動の観点から住民への血圧管理の重要性を周知) 	<p>(さくっと「ずく出す」フォーラム参加者の声)</p> <p>○「自分のためと意識を持ち、教えていただいた運動をしていきたいと思った」</p> <p>○「この活動がやがて佐久全域に広がるキッカケになると確信しています」</p>	<p>【A】 野菜チェックシート</p> 
	佐久「地消地産」プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ●地消地産を推進するためのツールとして、<u>地域農業の姿や野菜と花き等特徴ある地元食材の生産・流通に至る過程を動画化</u> ●上田地域振興局と連携した食糧自給圏消費実態調査を実施 ●佐久産の日本酒消費拡大を図るため、銀座NAGANOでSAKU13のPRイベントを開催(参加者56人)、佐久地域日本酒PRパンフレットの翻訳及び試験配付(500部)、軽井沢旅館組合関係者を対象とした酒蔵はしご見学バスツアーを開催(1回、参加者18人) ●野菜摂取量の増加、減塩に向けた「さくさく野菜食べようキャンペーン」の実施(普及啓発用ポスター、チラシ、野菜チェックシート等の作成・活用、農産物直売所・スーパーとの連携) 【A】 ●佐久地域食育推進フォーラムの開催(参加者72人) ◆佐久鯉の消費拡大に向けた冷凍技術等の開発研究(佐久鯉の熟成時間に関する鮮度指標による検証と官能検査による食味評価) ★tutumuでつつむ望月のおいしいもの事業(地元の食材を活用した料理の普及・流通範囲の拡大による地消地産の取組を推進) 	<p>(佐久地域食育推進フォーラム参加者の声)</p> <p>○「野菜を一番先に食べることの大切さを改めて感じました」</p> <p>○「地元野菜をたくさん食べようと思います」</p> <p>(その他)</p> <p>○フォーラム参加者へのアンケート調査の結果(回答者56人)、「さくさく野菜食べようキャンペーン」を展開していることについて、「知っていた」及び「名前は聞いたことがあった」の回答割合が91%</p>	<p>【B】 天体観測施設における星空観賞会</p> 
	いいづら佐久カラマツ活用プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ●2018環境フェアin佐久(1回、参加者約50人)、森林フォーラムin佐久(1回、参加者180人)における森林認証及びカラマツ製品等のPRを実施 ●市町村担当者、財産区・区の役員を対象に、カラマツ林の主伐、再造林を推進し木材を安定供給するために視察研修を実施(2回、参加者41人) ◆確実な森林の更新とコストの低減を図るため、木材生産後の植栽等への助成や、高額な更新(地拵・植栽)に係るコストを下げる取組を推進 	<p>(森林フォーラム参加者の声)</p> <p>○「5年、10年、50年持続的に地域の森林を見守り続ける人材をどう育てるか県土の大多数を森が占める長野県だからこそ林業の展望に期待したい」</p> <p>(その他)</p> <p>○フォーラム参加者へのアンケート調査の結果(回答者73人)、森林フォーラム全体の感想として、「興味深かった」及び「多少興味をもてた」の回答割合が93%</p>	<p>【C】 3地域振興局から「長野県は宇宙県」スタンプラリー2018への提供グッズ</p> 
美しい星空と青空をテーマとした観光地域づくり	星空・宇宙を学び、楽しむプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ●佐久地域の美しい星空を活かした星空観賞会を開催(3回、参加者88人) ●天体観測施設等と連携し、地域の小中学生に向けた「佐久エリア星空観賞会」を開催(1回、参加者46人) 【B】 ●佐久・南信州・木曽の3地域振興局が連携し、「長野県は宇宙県」スタンプラリー2018に参加、ヘルシーテラス佐久南で星景写真パネル展を開催 【C】 ★ハケ岳キッズチャレンジ(子どもが登れるハケ岳のコースの紹介や夕暮れ・夜空を楽しめる山小屋宿泊を全国の親子向けにPR) 	<p>(SAKU星空観賞会参加者の声)</p> <p>○「プロの方に、一人では絶対に見れないものを見せてもらえて、自慢できる知識が増えて嬉しいです」</p> <p>○「普段、何気なく見ている星空をいつもよりきれいな状態で見る事ができてとても有意義な時間だった」</p>	
	高い晴天率を活かした青空の下で楽しむプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ●渋滞対策のため、諏訪地域振興局等と連携して白駒池・苔の森へのシャトルバス等の情報に関するチラシを作成・配付(9,000部) ●軽井沢からの周遊観光を促す情報発信カードの作成・配布(12,000部) 【D】 ●広域観光を推進するため、市町村と連携しアフターDCに併せて軽井沢駅で地域の特産品や観光のPRを実施(7/1、9/30) ●ポールを使ったウォーキングによる効果測定の実施 ●移住者や観光客が手軽に景観を眺められる環境をつくるため、ビューポイントの活用促進、情報発信に関して関係機関による検討会議を開催(1回) ★小諸ふるさと遺産認定事業(小諸市が地域のシンボル等を「ふるさと遺産」として認定し、後世に伝えるとともに、地域の魅力的な観光資源としても活用) 	<p>(その他)</p> <p>○SAKU星空観賞会参加者へのアンケートの結果(回答者73人)、佐久地域の星空の美しさについて「理解できた」の回答割合が90%</p> <p>○「長野県は宇宙県」スタンプラリー2018に佐久地域振興局から提供したグッズの交換数 34個(12スタンプで交換)</p>	<p>【D】 情報発信カード</p> 

横断的な課題	施策の柱	具体的な取組(●地域振興推進費、◆部局予算、★地域発元気づくり支援金)	県民・イベント参加者の声等	制作物等
地理的優位性を活かした移住の促進と二地域居住の探求	佐久地域の移住スタイルの探求	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村と連携した信州佐久地域移住体験ツアーを開催(2/9~2/10、参加者5組、計10人) ●移住専門誌等により佐久地域のライフスタイルについて情報発信(雑誌「TURNS」及びWebへの掲載) ★直売所発都市部との農業交流事業(農業を通じて都市部との地域交流に取り組み、町の活性化を図るため、「こうみ有機農業塾」(農業体験等)の実施やホームページにより情報を発信) 	<p>(信州佐久地域移住体験ツアー参加者の声)</p> <p>○「一度のツアーで4市町回れていろいろ見られてよかった。気になったところをまた詳しく見ていきたい」</p> <p>○「どの市町も説明の方が移住者で深く話を聞けて非常に関心が高まった」</p>	<p>【E】 信州「佐久地域」移住・教育セミナー</p> 
	佐久地域の特色ある教育・子育て環境のPR	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村、教育関係者、宅建協会等と連携し、信州「佐久地域」移住・教育セミナーを銀座NAGANOで開催(1回、参加者10組、計19人)【E】 ●◆高校生等の地域理解を深めるとともに、しあわせ信州創造プラン2.0佐久地域計画の普及啓発を図るため、高校生がデザインした「佐久地域の5年後の将来像」を活用したクリアファイルの作製・配布(23,500部)【F】 ◆市町村(学校組合)教育委員会が実施している特色ある教育や学校の活動をとりまとめ、ホームページ等で情報発信 ★「佐久地域こどもまつり」開催事業(信州こどもカフェの機能や役割を担う団体との交流の機会を創出することにより、情報発信や担い手の確保などを図るため、佐久地域こどもまつりを開催) 	<p>(信州「佐久地域」移住・教育セミナー(銀座NAGANO)参加者の声)</p> <p>○「次は長野県、各市町村や学校に是非、見学させて頂きたいと思いました」</p> <p>○「参加団体が1か所に集まってセミナーを開いて頂けて助かりました」</p>	<p>【F】 高校生が描いた「佐久地域の5年後の将来像」</p> 
浅間山の防災体制強化及び活用	防災体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆ハザードマップを反映させた新しい市町村防災マップのひな型を作成(3月) ◆ハザードマップに係る市町村住民説明会を開催(4回、御代田町、軽井沢町、佐久市、小諸市) ◆浅間山火山防災協議会において情報伝達訓練及びロールプレイング防災訓練を実施(各1回) 	<p>(浅間山モニターツアー参加者の声)</p> <p>○「今まで黒斑山にしか行ったことがなかったが、周遊したら浅間山の魅力が倍になった」</p> <p>○「前掛山(と)セットでまた来たい」</p>	<p>【G】 浅間山周遊登山モニターツアー</p> 
	固有の資源としての活用	<ul style="list-style-type: none"> ●銀座NAGANOで浅間山周遊登山の魅力発信するPRイベントを開催(1回、参加者23人) ●県外在住者を対象に浅間山周遊登山モニターツアーを実施(1回、参加者16人)【G】 ●噴火警戒レベル引下げに伴う情報発信の強化(首都圏開催イベントでの浅間山ガイドブックの配布及び来シーズンに向けた登山情報誌記事掲載のための取材を実施) 	<p>(その他)</p> <p>○モニターツアー参加者へのアンケート調査の結果(回答者16人)、登山行程、登山コースの難易度及び浅間山周遊バスの運行時刻について、「ちょうどいい」という回答割合が87.5%、また、1泊2日のツアーに関して「前泊してよかった」と参加者全員が回答</p>	